



# 雪若丸 情報

## 第3号

庄内総合支庁農業技術普及課 (TEL 0235-64-2103)

## 莖数 460～520 本/m<sup>2</sup>を確保した圃場から 中干しに入りましょう！

### 1. 生育状況 (6月20日調査)

- 普及課の生育調査圃場では、草丈、葉色は指標をやや下回っていますが、葉数は指標並み、**莖数は指標より多い状況です。**

生育調査圃場の状況 (鶴岡市下小中)

	草丈(cm)	莖数(本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色(SPAD)
<b>本年</b>	<b>30.7</b>	<b>613</b>	<b>8.4</b>	<b>42.4</b>
指標	34.0	520	8.5	44.0
<b>指標比差</b>	<b>90</b>	<b>118</b>	<b>-0.1</b>	<b>-1.6</b>

- 管内の圃場でも、**莖数が多く、すぐに中干しを始められる圃場が多く見られます！！**  
**莖数(460 本/m<sup>2</sup>以上)を確認して、中干しを行ってください！！**

↳ 坪 70 株植えの場合は株当たり 22 本、坪 60 株植えの場合は株当たり 25 本

### 2. 中干しの目安

- 表を参考に、圃場毎の地力や生育量に応じて、中干しの程度を変えましょう。

中干しの目安 (莖数が 460 本/m<sup>2</sup> 以上の圃場)

地力並・生育並～良	7～10 日間を目安に、小ヒビが入る程度
地力高い・生育過多	11～15 日間を目安に、大きなヒビが入らない程度
地力低い・生育過多	圃場の乾燥しやすさに応じて、小ヒビが入る程度

※葉色を落としすぎないように注意！

幼穂形成期までは、SPAD 値で 40 (葉色板で 5) 以上を維持

- 莖数が 460 本/m<sup>2</sup>に届かない場合は、引き続き浅水管理を行いましょ。

中干しは、遅くとも 6 月末に開始しましょう。

### 3. 生育が不足している場合の対応

- 6月20日で「莖数 300 本/m<sup>2</sup>以下、葉色 40 以下」の場合は、窒素成分で 1kg/10a 程度を補完施用します。自然落水後は、浅水管理で分けつを促進し、6 月末から中干しを開始します。

熱中症に注意！ 水分補給と休憩を忘れずに！